別紙1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）（案）

令和7年1月　　日

協議会名：　**大樹町地域公共交通会議**

評価対象事業名：　地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
大樹町	運行系統名： 市街地循環バス 運行区間： コスモール大樹～役場前～コスモール大樹 運行回数： 4回/日、564回/年（実績） 運賃： 100円/回	福祉分野との連携について、昨年度の事業評価結果を踏まえ、今年度についても継続実施をしている。 また、目標・効果達成状況について、昨年度の事業評価結果を受け、利用者数だけではなく、収支率も目標値に位置づけ、持続可能性の観点からも評価を行うこととした。	A	計画通り事業は適切に実施された。	C	目標①「利用者数」については、目標値には達しなかったが、前年度と比較し、日当たり利用者数は増加していることから、今後も継続的な利用促進を図っていく。 目標②「収支率」について、目標①及び目標③が目標値に届かなかったことから目標は達成できなかったが、前年度と比較すると収支率は改善された。 目標③「公的資金投入額」については、運行業務に係る委託料単価の増額と物価高騰による燃料費の高騰等により、当初想定よりも経費がかかる結果となった。 今後も継続的に交通事業者とのコミュニケーションを図りながら、持続可能性の確保を図っていく。	・今後さらに利用者を増加させていくためには、より周知活動に力を入れることも重要であり、今年度に配布を行った市街地循環バス-コミュニティバス「コスモ」の路線図・時刻表を掲載したチラシ配布に加え、市街地循環バス-コミュニティバス「コスモ」や十勝バス広尾線なども含めたバスマップの作成を進める。 ・ふまねっと開催時は、コスモ（現在の車両サイズ）だけでは輸送しきれていない状況が発生していることから、現車両よりも乗車定員数の多い車両を導入することとしている。